

東久留米市の長期総合計画後期基本計画を策定しています

まちの将来像の実現に向けた5 + 1のテーマへの、 市民意見を募集しています

① 過去4年間の市の取組みから、
各テーマのなかで「評価できると思うもの」を教えてください

② 気になるテーマを選び、
東久留米市のまちづくりを進めていくにあたって、
あなたが大切だと思うことや期待することを教えてください。

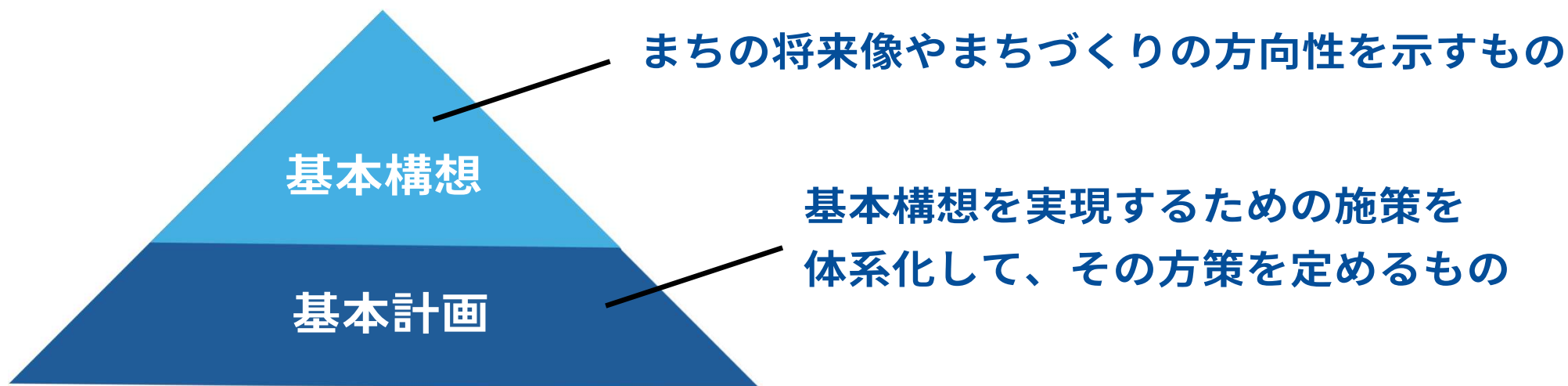


Step1. 長期総合計画とは？



東久留米市のまちの将来像と、それを実現するための施策の考え方をまとめた、市の最上位計画です。

「基本構想」と「基本計画」の二層で構成されています。



Step2. 計画の期間



「東久留米市第5次長期総合計画」に沿って、まちづくりを進めています。
計画期間は令和3年度から令和12年度までの**10年間**です。
令和7年度で前期の基本計画が終わるため、令和8年度からの5年間に向けて
「**後期基本計画**」を作っています。

令和3年度

令和8年度

令和12年度



Step3-1. 5+1のテーマとは？



まちの将来像である、『みんないきいき 活力あふれる 湧水のまち 東久留米』を実現するため、5つの基本目標と、それら全てに必要な基本的な取組を定めています。

生涯学習

地域経済 農業
産業 地域交流

安全 安心

インフラ整備
市街地整備

地域福祉

障害者支援
保健医療
高齢者福祉

① 共に創るにぎわい
あふれるまち

② 安心して快適に
すごせるまち

③ いきいきと健康に
暮らせるまち



Step3-2. 5+1のテーマとは？



子ども
子育て
学校教育

資源循環
環境保全
温暖化対策

+

協働 行財政運営
男女共同参画
多文化共生

④ 子どもが豊かに
成長できるまち

⑤ 自然と共生する環境
にやさしいまち

基本構想実現
のために

テーマごとに、これまでの取組を振り返りながら、今後5年間の重点施策を考える節目のタイミングとして、市民の皆さんのご意見を広く募集しています。

人口について



東久留米市にはおよそ11万人の人が暮らしています。

人口はここ数年、少しずつ減ってはいますが、大きな変化はなく、ほぼ横ばいの状態です。



ただ、この先は少しずつ人口が減っていき、特に若い世代や子育て世代が少なくなる一方で、高齢者が増えることが予想されています。そのため、少子高齢化がさらに進んでいくと考えられます。



財政について

市の年間予算は国民健康保険や介護保険などに充てられる特別会計を含め、およそ775億円です。

その中でも、子育て・福祉・教育・住環境整備といった暮らしに身近な分野への投資が多くを占めています。

社会保障費の増加や、公共施設の老朽化によって施設更新経費などが必要になり、厳しい状況が続いています。

使える財源が限られている中で、事業に優先順位をつけながら、収入の範囲内で事業を実施していく必要があります。



共に創るにぎわいあふれるまち

より活気に溢れ、魅力的なまちを目指していくために、
あなたが「大切だと思うこと」、「期待すること」
を教えてください。

関連するキーワード

生涯学習
地域経済 農業
産業 地域交流

にぎわいが生まれる、
住みたくなるまちへ



4つの基本的な施策

1.地域経済の活性化



2.都市農業の振興



3.地域力の向上



4.生涯学習の推進



これまで市ではこんなことをやってきました

地域産業推進協議会と 連携した取組

「東久留米西口駅前ナイトマルシェ」を開催しました。テイクアウトフード、雑貨、農産物など市内の様々なお店が出店しました。

また、「TOKYO 創業ステーションTAMA」と連携して、東久留米市で新しく起業したいという方に向けた創業支援トークイベントを開催しました。



農機具等の購入補助

農業者支援の一環として、スマート農業や脱炭素農業など、農業の効率化のための農機具・農機械の購入費用を補助する事業を実施しました。

令和6年度東久留米市中核的・中心的農業者支援事業 (農機具等購入補助)を実施しました

市では、農業者さんの経営力強化及び都市農業の振興を図ることを目的に、農機具等の購入経費の一部を補助する補助事業を実施しました。令和6年度は予算額を大幅に上回る多くの申請がありました！
次回の補助事業は令和8年度の予定です。

主な事業申請内容

パイプハウスフィルム張替工事、パソコン、ハウス用遮光ネット、管理機、バッテリー動噴、野菜洗い機、トラクターアタッチメント、ネギ管理機、花粉交配機、ハンマーナイフ、耕運機、電動野菜結束機、トラクター用播種機、枝豆脱莢機 etc...

シェアサイクルの導入

市内の魅力あるスポットの周遊性や移動の利便性の向上等に有効であるかを検証するため、シェアサイクル実証実験を実施しています。





安心して快適にすごせるまち

だれもが安心して、快適に暮らせるまちにするために、
あなたが「大切なと思うこと」、「期待すること」
を教えてください。

関連するキーワード



だれもが安心して、
快適に過ごすことが
できるまちへ



2つの基本的な施策

1.安全・安心な地域づくり



2.快適な住環境整備の推進



これまで市ではこんなことをやってきました

地域の防災力を高める取り組み

災害時に電気が使えるように、避難所や医療救護所にポータブル蓄電池や可動式太陽光パネルを整備しました。災害対策の拠点となる本庁舎では、未来志向の公共施設の考え方にに基づき、設備の老朽化やエネルギー対策への対応を検討しています。



都市公園の整備

竹林公園では、こども・子育て世代の声をもとに、市民の皆様の居場所となるよう整備を進めています。また、市内各所にボール遊びができる公園の整備も進めています。



デマンド型交通

デマンド型交通にAIを活用した交通システムを構築して、令和7年度から本格運行しています。

パークマルシェを開催

緑とオープンスペースにとどまらない新しい時代の公園のあり方をご理解いただくことを目的として、上の原東公園においてパークマルシェを開催しました。



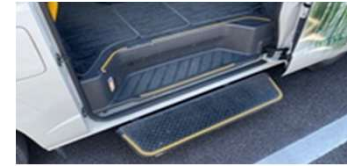
1.市役所前を走る「くるぶー」



2.握りやすい手すり



3.乗降のための電動ステップ



4.新生児（0～1歳児）対応のチャイルドシート



いきいきと健康に暮らせるまち



だれもがいきいきと活躍して、健康に暮らせるまちにするために、あなたが「大切なと思うこと」、「期待すること」を教えてください。

関連するキーワード

地域福祉

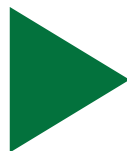
障害者支援

保健医療

高齢者福祉



いきいきと健康に
暮らせるまちへ



4つの基本的な施策

1. 支え合う地域福祉の推進
2. 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくり 
3. 障害者がいきいきと暮らせる地域づくり 
4. 健やかな生活を支える保健医療の推進 

これまで市ではこんなことをやってきました

健康寿命をのばす取組 (健康増進やウォーキング)

市内のウォーキングコースのほか、地場産野菜の直売所や野菜レシピ、イベント情報などを発信する健康づくり応援アプリ「るるめナビ」や、「スポーツ健康ウィーク東久留米」などを通じて、運動や健康に関心を持ってもらう取組を行ってきました。

健康づくり応援アプリ
「るるめナビ」



スポーツ健康ウィーク東久留米

障害のある人や 高齢者への支援

障害のある人のための支援体制を計画に基づいて整備し、基幹相談支援センターの設置に向けた検討を開始しました。
高齢者向けには、相談窓口をより身近にするため、在宅介護支援センター（地域包括支援センターブランチ）を設置しました。



認知症や在宅医療への対応

認知症の早期発見・対応につなげるため、啓発や講座を実施しました。地域の医療や介護関係者が連携するしくみづくりも進めてきました。



令和7年4月発行



認知症ガイドブック 在宅医療ガイドブック



子どもが豊かに成長できるまち



安心して子どもを生み育て、子どもたちが豊かに成長するまちにするために、あなたが「大切なと思うこと」、「期待すること」を教えてください。

関連するキーワード

子ども
子育て
学校教育



子どもが豊かに
成長できるまちへ



2つの基本的な施策

1.子どもを安心して
生み育てられる環境づくり



2.子どもの未来を育む
学校づくり



これまで市ではこんなことをやってきました

こども家庭センターの開設

令和6年4月にこども家庭センター開設し、妊産婦や乳幼児への支援を強化し、子育て家庭への一体的な支援を行っています。また、お母さんの心と体のケアができるサービス（ショートステイや訪問型支援など）を始め、こどもショートステイの対象も拡大しました。



ファミリー・アテンダント事業

令和6年12月から開始したファミリー・アテンダント事業では、訪問員が家庭を訪問し、育児に関する支援を行い、育児用品の提供をしています。



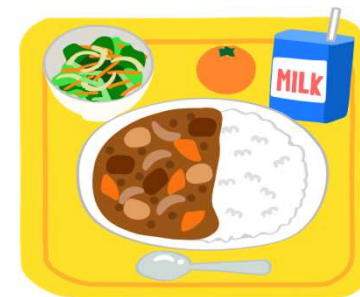
教育環境の整備

スクールソーシャルワーカー、教育センター相談員等の拡充や、わくわく健康プラザへの学習適応教室の開設、中学校7校の全普通学級へのプロジェクター導入などに取り組みました。



中学校でのあたたかい給食の提供

中学校ではお弁当形式の給食に、あたたかいメニューを取り入れるプレテストを実施し、生徒のみなさんの声も集めました。現在、実施に向けた準備を進めています。



自然と共生する環境にやさしいまち

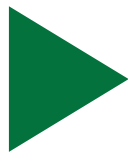


人と自然が共生する、環境にやさしいまちにするために、
あなたが「大切だと思うこと」、「期待すること」
を教えてください。

関連するキーワード

資源循環
環境保全
温暖化対策

自然と共生する
環境にやさしいまちへ



2つの基本的な施策

1. 水と緑を守り育てる
環境づくり



2. 地球環境にやさしい
くらしづくり



これまで市ではこんなことをやってきました

東久留米市 ゼロカーボンシティ宣言



令和5年3月に、市民、事業者、行政が一体となり、「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指す、「東久留米市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

東久留米市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化や気候変動の問題については世界的に見ても、平均気温の上昇や海面の上昇、干ばつや寒波、台風の大型化などにより災害が激化するとともに、すべての生態系に大きな影響を与えています。

2015年に採択されたパリ協定では、世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することとし、人類共通の取り組むべき課題として、世界各国において「脱炭素化」への歩みを進めています。わが国でも、2020年10月に「カーボンニュートラル」を宣言し、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにするとの高い目標を掲げ、国を挙げた取り組みを推し進めています。

こうした中、当市が脱炭素化に取り組むにあたっては、これまでの省エネルギーに加え、資源に限りのある化石燃料から地域資源としてのグリーン電力、再生可能エネルギーへの転換や減炭レジリエンスとの連動等を図り、持続可能な強靱性の高いまちを創造する視点が大切です。また、日々の生活を営む際に排出される廃棄物の更なる減量、資源の循環利用に取り組むことも重要です。

私たちは、今を生きるものとして、地球の未来に、将来の世代に大きな責任を負っています。私たちの行動の一つひとつが、人類共通のチャレンジへとつながり、ひいては、「あんしんして暮らせるまち」をつくります。

東久留米市は、私たちが生まれ住むこの地球環境を次の世代に引き継げるよう、市民・事業者・行政が一体となり「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指すことをここに宣言します。

令和5年3月1日

東久留米市長

富田 竜馬

燃料電池ごみ収集車の試験運行

脱炭素社会の実現に向け、東京都から燃料電池ごみ収集車を1台借りて、試験運行を始めました。



燃料電池ごみ収集車

緑地の保全

「東久留米市緑地保全計画」に基づき、黒目川源流域、柳窪けやき森の広場を購入し、公有地化して、緑地の保全を行っています。





基本構想実現のために

市民と協働によるまちづくりの取組、人権や男女平等を大切にする取組、持続的な行政の進め方について、あなたが「大切だと思うこと」、「期待すること」を教えてください。

関連するキーワード

協働

行財政運営

男女共同参画

多文化共生

基本構想の実現に向けた3つの取組



1. 協働による
まちづくりの推進



2. 互いに尊重しあえる
意識の醸成



3. 持続可能な行財政運営



これまで市ではこんなことをやってきました

東久留米市GX 推進方針

国の方針を受けて、「2050年ゼロカーボン社会の実現」とともに、市民が「あんしんして暮らせるまち」を目指すため「東久留米市GX推進方針」を策定しました。



男女共同参画の推進

「東久留米市第4次男女平等推進プラン」に基づき、「男性の家事・育児参加促進のための講演会」および「地場産野菜の収穫と料理教室」を実施しました。また、家事・育児シェアBOOK「パパニツバサ」を作成しました。

人にやさしいデジタル化

「LINE」を活用したオンライン市役所を導入しました。各種オンライン申請や、住民票の交付等のキャッシュレス決済のほか、小・中学校、学童保育所の欠席連絡やお便り等も、このプラットフォームで対応可能です。

官民連携

家庭系ごみ指定収集袋を 自動販売機で販売

官民連携の取組により、試行的に家庭系ごみ指定収集袋が購入できる自動販売機を設置しました。



家事・育児
シェアBOOK

地場産野菜の 収穫と料理教室



男性の家事・
育児参加促進の
ための講演会



あなたのご意見をお聞かせください！

まちづくりの基本理念は『みんなが主役のまちづくり』です。

この意見募集は、「ただ聞く」だけでなく、
計画づくりに活かすための大切なプロセスです。

あなたの声が、東久留米市の未来のまちづくりにつながります。

